

学修成果の評価概要及び客観的な指標の算出方法

学修成果の評価について

授業計画書(シラバス)に明記された成績評価の方法(出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など)により成績評価を行う。単位制の学科においては、所定の出席時間を満たし、試験に合格した場合に単位を認定する。成績の評価は以下の通りである。

【学則別表 2 より】

試験の評価は素点とし、100 点満点中 60 点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。

その評価は次のとおりとする。

- ・80点 ~ 100点A(優)
- ・70点 ~ 79点B(良)
- ・60点 ~ 69点C(可)
- ・60点未満F(不可)

客観的な指標の算出方法について

学科・コース単位で全科目の合計点の平均を算出し、学科・コースごとにその一覧表を作成する。成績一覧は会議に諮り、承認を得た上で成績評価認定を行う。

上記一覧表から、各学科の人数より下位 1/4 に相当する人数・点数を求め、かつ 50 点未満、50 点以上 60 点未満、60 点以上 70 点未満、70 点以上 80 点未満、80 点以上 90 点未満、90 点以上の 6 段階に分けた成績分布表を作成する。